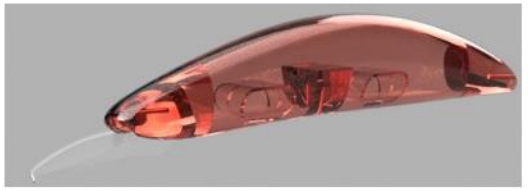
3Dデータの普及活動
3Dプリンタールアーを作ろう！

京都３Dデータ活用研究会

京都３Ｄ
データ活用
研究会とは

３Dプリンターでルアーを作ろう！

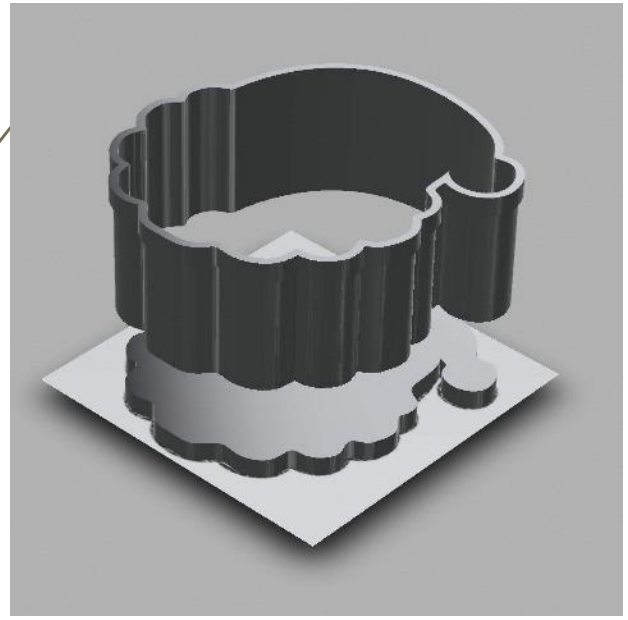
- ルアーは、管理釣り場から川湖釣り、海釣りまで、幅広く使われている疑似餌で、非常に多くの種類があります。条件や釣りたい魚、腕や好みでどんな形状や重さのルアーが釣れるのか人それぞれ違います。3Dプリンターを使えば自分だけのルアーを作製することができ、実際に釣りに使用することでルアーの良し悪しも自分で判断できます。
- また、一度3Dデータを作ってしまえば、変更も容易で、３Dプリンターで同じものを簡単に作ることができます。自分でルアー作りをしたい人にとって、3Dデータは非常に有用なものです。これをわかったもらえるように、講座を企画しました。
- 3Dデータ作製に不慣れな方でも、ルアー作りができるように、最初に３Dデータの作り方講座を行い、また３Dプリンターの取り扱い方を学んでから、実際のルアー作りができるように、4回シリーズにしました。



第1,2回　3Dデータの作製

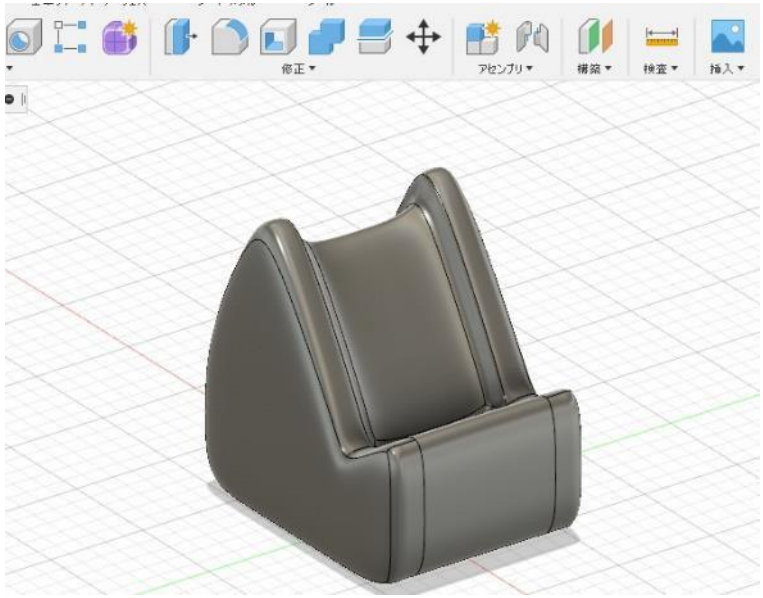
3DCAD講座、3DCG講座

12月7日 13:00-16:00
参加者 4名(定員10名)
講師　根津(京都３Dデータ活用研究会)



クッキー型

12月14日 13:00-16:00
参加者 3名(定員10名)
講師　文山(ひふみ造形室)

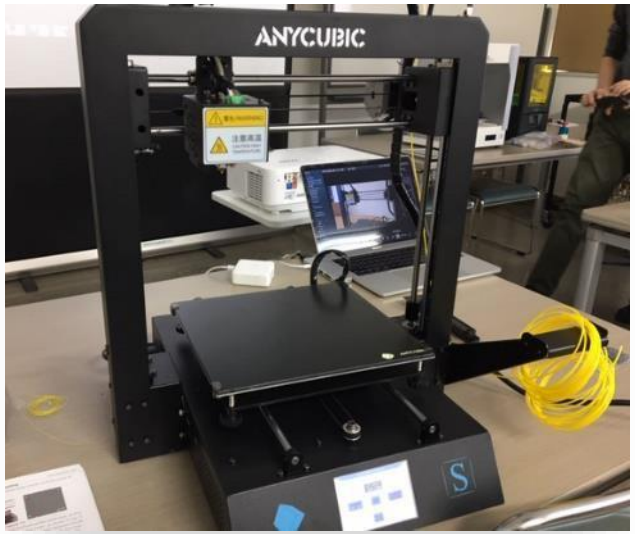


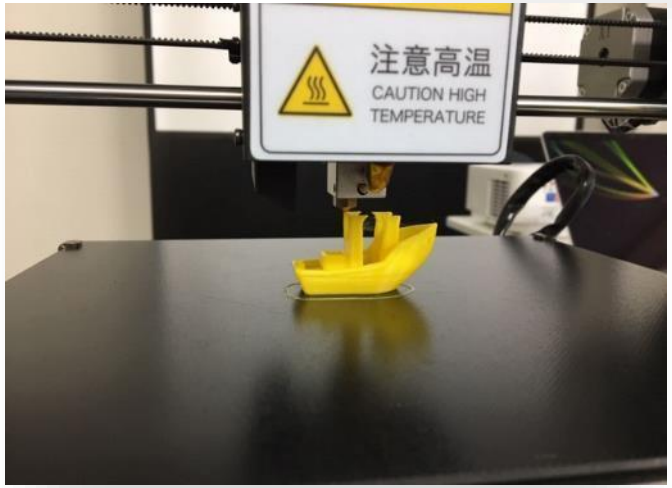
スマホスタンド

第3回　3Dプリンターの取扱

３Dプリンター講座

1月18日 13:00-16:00
参加者 4名(定員10名)
講師　根津(京都３Dデータ活用研究会)

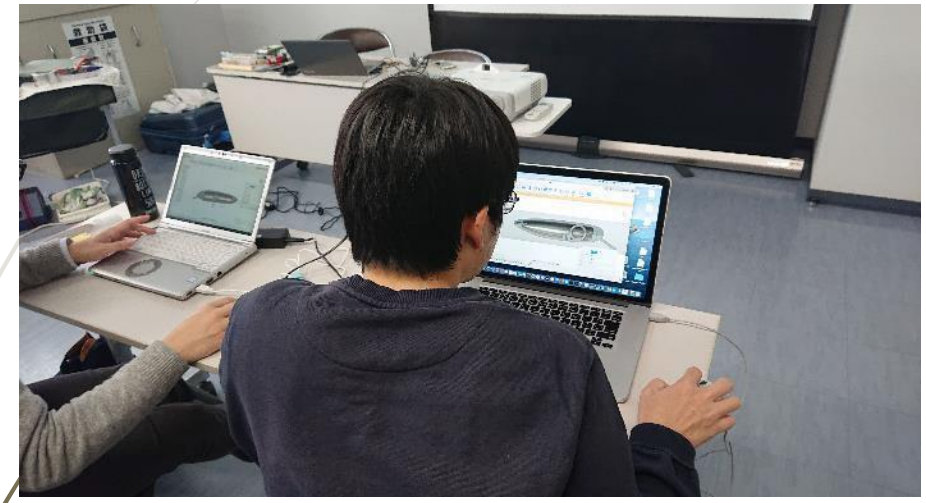


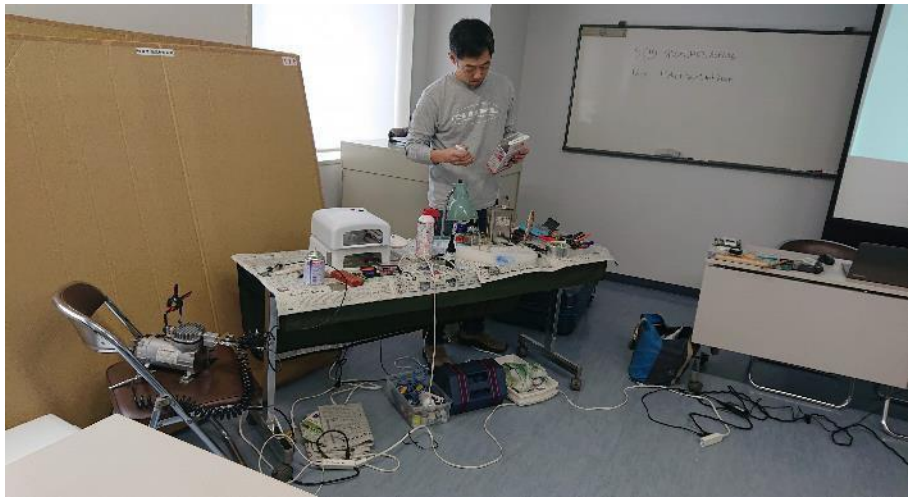


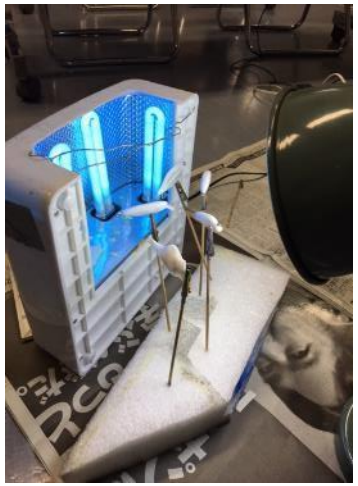
第4回　ルアー作製

ルアー作り

1月26日 10:00-16:30
参加者 4名(定員10名) 小学6年生1人
講師　三枝(1310 KF WORKS)







苦労した広告

当初、ホームページやFacebookで募集をしたが、参加者が少なく日程の変更して、広告の方法をチラシや広報などに変更した。

広報長岡京の掲載ができなかったので、長岡京市の後援を取り、市内の広告板にチラシを掲示。今まで、３Dプリンターの講座を行ってきた、バンビオや中央公民館にチラシをおいてもらった。また、長岡京市内の釣具屋や京都市内の釣具屋(釣り具のブンブン様、フィッシング・エイト様)にチラシを掲示してもらった。

成果

- 定員を延べ40人に設定したが、結局延べ15人の参加に留まった。個人パソコンの持ち込みや3DCADのインストールなど、参加するにあたって、難しいと感じさせてしまった。また、難しいと思われることを段階的に学ぶ講座を行ったが、反対に連続して参加しないといけないように誤解を受けてしまったように思う。
- 会員は、参加者から4人ほど増えた。長岡京市の３Dプリンターが使えるようになる講座に、参加者が3名参加して、認定書を発行できた。会員は、それぞれ自分で作りたいものがはっきりしていて、それに向かって今回の講座が役になったとの感想を頂いている。
- 今回の事業を通し、当初考えていた誰でも気軽にというのは、まだ難しいと感じた。補助金で３Dプリンターの購入もでき、会員増加や3Dデータの普及活動に役立っていくと思います。これからは、気軽に使えると思ってもらえるような普及活動とともに、興味を持ってくれる会員を地道に増やしていく活動を行ってきたいと思っています。

以上、ご清聴ありがとうございました

京都３Dデータ活用研究会　根津将之